

きょういくのページ



▲第1回会議のようす

「共育」のあり方を提言 までい共育推進会議が発足

村民の意見を教育行政に反映させようと「飯館村までい共育推進会議」が設置されました。

会議は、教育委員会が3人体制に移行したことなどを受けて、村民が教育行政に参加する機会を増やす目的で設置されたものです。

10月17日に開かれた第1回会議では、佐藤隆明教育委員長から委員を代表して島義一飯館中学校長に委嘱状が手渡されたのに続いて、川村勝彦さん（草野）を委員長に、北原康子さん（宮内）を副委員長に選出しました。

次に、村の教育の実情を把握するため事務局から説明を受けました。

説明では、学力検査の結果や学力と生活習慣の関係、生徒指導の状況や子どもの生活実態などの報告があり、各委員からは「自然が豊富で理科の教材には事欠かないはずなのに、親も子どもも関心が向かない」「村に非行がある」とは残念。誰かに責任を押し付けるのではなく、村民全員



▲佐藤委員長から委嘱状の交付を受ける島義一飯館中学校長（写真右）

で反省すべき」などの意見が出されました。

委員の任期は2年間で、今後、研修を積みながら村への提言や諮問に対する答申などの業務に当たっていく予定です。

までい共育推進会議委員

（敬称略）

委員長・川村勝彦（草野）

副委員長・北原康子（宮内）

委員・島義一（飯館中）、新井川美千枝（白石小）、小山茂（草野）、下田章子（草野）、佐藤弘子（二本松市）、天田あけみ（大倉）、佐藤香織（前田・八和木）、北原繁（白石）

○任期・平成20年3月31日まで

子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

寝る子はよく育つ

飯館中学校で、授業中に居眠りをしたり、机に突っ伏して眠っている生徒がいます。注意されても、またそのような状態になりますから、よほど眠いのだろうと思います。幼稚園や小学校でも、同じようなことが起きているかもしれません。

飯館村の子どもたち、幼稚園や保育所の子ども、小学生、そして中学生、何時に寝ているのでしょうか。少なくとも、小学4年生ころまでは、夜9時にはやすやすと寝なければなりません。いかがでしょうか。

昔から「寝る子は育つ」と言われています。これは真実です。子ども時代に必要な成長ホルモンは、夜睡眠中にたくさん分泌されるのです。しかも病気をしない子どもに育ちます。寝る子は性格のことも含めて、よく育つのです。

早寝早起きは親のしつけ次第です。そして子どもを定時に寝かしつけると、夫婦の語らいの時間がいっぱい生まれます。多忙な時代、子育てや人生についての語らいを深める貴重な時間です。

飯館中学校および相農飯館分校
スクールカウンセラー

海野 和夫